

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2020/12/31	2021/9/30	2021/10/8	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	27,444.17	29,452.66	28,048.94	30,795.78	2021/9/14	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	30,606.48	33,843.92	34,746.25	35,631.19	2021/8/16	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	103.25	111.29	112.24	114.21	2018/11/12	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～米インフレ加速や連邦債務上限問題への警戒感などから、下落～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲722.13円(▲2.51%)、TOPIXが▲24.46ポイント(▲1.23%)となり、米インフレ加速や連邦債務上限問題への警戒感などから下落しました。業種別(東証33業種)で見ると、鉱業、その他金融業、銀行業などの13業種が上昇した一方、海運業、空運業、医薬品などの20業種が下落しました。週初4日は、中国恒大集団の資金繰り難や米連邦債務上限問題への警戒感などから下落して始まり、翌5日は、経済活動の正常化や供給制約による米インフレ加速への警戒感などから米長期金利が上昇したことを受けハイテク株やグロース株を中心に大きく続落し、その後も軟調な推移が続きました。週末8日は、前日の米上院で与野党が連邦債務上限を12月上旬まで一時的に引き上げる方針で合意したことにより米国債のデフォルト(債務不履行)リスクが後退したことや、国慶節連休明けの中国株市場が堅調だったことなどへの安心感から、TOPIXは10営業日ぶりに上昇して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
10月12日	Tue	国際	IMF(国際通貨基金)世界経済見通し(WEO)公表		
		ドイツ	ZEW期待指数	10月	26.5
10月13日	Wed	日本	機械受注(船舶・電力を除く民需)(前月比)	8月	+0.9%
		中国	貿易収支	9月	583.3億ドル
		欧州	ユーロ圏鉱工業生産(前月比)	8月	+1.5%
		米国	CPI(消費者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	9月	+4.0%
10月14日	Thu	中国	FOMC(米連邦公開市場委員会)議事要旨公表		
		米国	CPI(前年比)	9月	+0.8%
10月15日	Fri	米国	PPI(生産者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	9月	+6.7%
			ニューヨーク連銀製造業景気指数	10月	34.3
			小売売上高(除自動車)(前月比)	9月	+1.8%
			ミシガン大学消費者信頼感指数	10月	72.8

決算発表予定 他	国内	決算発表 :	10/11 コスモス薬品 10/12 東宝 10/14 FRIテリ、良品計画
	海外	決算発表 :	10/13 JPMorgan、フラックロック 10/14 BofA、モルガンS、シティグループ、アルコア、TSMC 10/15 ゴールドマン

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～外部環境への懸念が残るものの、追加経済対策や経済正常化への期待から下値を切り上げる展開～

今週の日本株市場は、外部環境への懸念が残るものの、追加経済対策や経済正常化への期待から下値を切り上げる展開を予想します。

①米上院が連邦債務上限を引き上げる法案を可決したこと、②中国政府が電力不足の緩和に向けて石炭の増産を指示したこと、③国内における新型コロナウイルスの新規感染者数の減少傾向が続き経済活動正常化への期待は維持されていること、④14日に予定される衆議院解散を経て19日の公示に向け各党の公約が発表されるにつれ、追加経済対策への期待が高まると予想されることなどは、株価にプラスに働くとみている。但し、中国恒大集団の信用問題や米インフレ高止まり、米国の政治的不透明感などへの懸念は払拭されていないことから一方での株価上昇は見込み難く、これらの不安材料を睨みながら徐々に下値を切り上げるとみている。

その他の注目材料として、日本では13日の機械受注、米国では13日のCPI、14日のPPI、15日のニューヨーク連銀製造業景気指数、小売売上高、ミシガン大学消費者信頼感指数、欧州では13日のユーロ圏鉱工業生産、ドイツでは12日のZEW期待指数、中国では13日の貿易収支などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

URL: <http://www.alamo.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。 )が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。